

担当教員授業題目	臨海実習（埼玉大学）				担当教員	末光隆志，小林哲也	
英文授業名	Marine Biology with Laboratory Work				副担当教員		
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	集中・9月	対象学年	3
授業形態	実習	備考					
<p>(1)授業のねらい（到達目標） 海産無脊椎動物のスケッチを行い、動物の分類と同定することによって、動物の系統分類に関する理解を深める。</p> <p>(2)授業の概要 臨海実験所にて、磯採集、灯火採集、プランクトン採集などを行い、採集した海産無脊椎動物を観察しスケッチする。さらに、その動物の同定と分類を行う。</p> <p>(3)授業計画 第1部 大学における分類の基礎実習Ⅰ 大学において実習の概要と日程について説明する。また、実際にスケッチと分類を行い、実習の進め方を解説する。 第2部 臨海実験所における分類実習 臨海実験所にて、海産無脊椎動物のスケッチと同定及び分類を行う。なお実習期間中には、動物の生息環境に注目しながら磯採集を行う。また、夜は灯火採集、さらに、船を利用してプランクトン採集なども行う。 第3部 大学における分類の基礎実習Ⅱ 大学においてスケッチした動物を系統的に分類し整理する。</p>				<p>* 注意事項：数多くの動物をスケッチし同定するため、実習は長時間を要する。磯は危険な場所もあるので、採集の際には、ぬれても良い運動靴や長靴を履き（サンダルは不可）、慎重に行動すること。軍手、懐中電灯、ケント紙、2H の鉛筆、色鉛筆は必需品である。</p> <p>(4)成績評価の方法 実習への取り組み方、提出したレポートの成績により総合的に評価する。</p> <p>(5)履修上の注意 動物系統学、あるいは動物系統学を含む基礎的な専門科目を履修済みであることが望ましい。 9月下旬に、東京大学附属三崎臨海実験所を利用し2泊3日の臨海実習を行う。実験所滞在費（宿泊費・昼食）は自己負担（約6千円程度）となる。その他に、現地までの交通費と食費（朝食・夕食）などが必要となる。</p> <p>(6)質問、相談への対応 質問・相談は電子メールで受け付けます。 suyemitsu@mail.saitama-u.ac.jp（末光）， tkoba@mail.saitama-u.ac.jp（小林）（@を半角にして下さい）</p>			
【教科書】 使用しない。							
【参考書】 「新日本動物図鑑」北隆館、「原色日本貝類図鑑」保育社、日本海洋プランクトン図鑑」保育社 など。							